

(別紙)

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・中・長期計画を踏まえて、単年度計画を策定し、年度初めに「全体的な計画」「本年度の方針」「行事予定」などを職員に配布し、周知している。各行事については、担当を決め、ねらいや内容を職員会議等で検討、確認を行い、共通理解のもと進めるようにしている。 ・保育の質の向上を目指した個々の研修計画を立て、実践し保育に生かしている。その他、岐阜市の取り組みとして、正規職員を対象に人事考課を行う過程の中で、一人一人が人事考課検討票を作成し、与えられた目標・業務、チャレンジ目標をかかげている。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： ・保育事業の動向については、子ども保育課及び国、県、市関係機関からの連絡・報告や「保育士会だより」「ぜんほきょう」の各種専門誌、研修などによって情報を収集し、把握に努めている。 ・学校運営協議会を通して地域の状況把握や保護者の送迎時の対話、懇談会、アンケートの実施により保護者の保育ニーズを適切に把握し、必要に応じ職員会議などで話し合う機会を設け、職員が周知することで、次の計画に反映させている。		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めてい	㊤・b・c

	る。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容は、ドキュメンテーションを活用しPDCA サイクルにより保育の質の向上に努めている。 ・職員体制は、ローテーション勤務を実施することで、円滑な運営に努めている。 ・水道光熱費の適切な使用、消耗品の計画的な購入など職員一人一人がコスト意識を持ち、無駄なく効率的な予算執行に努めている。 ・在庫が分かるように倉庫や消耗品棚を整理整頓し、利用するものに無駄がないよう工夫して使い、経費の削減を図っている。 ・JA ぎふ三輪支店の協力によるサツマイモの栽培、ボランティアによるサッカー教室、保護者主催のサッカー・体操教室、不要になった絵本の寄付を募ることで、予算の効率化を図っている。 		
改善できる点／改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「養護・教育が一体となった充実した保育内容」「保育の質の向上」「安全・安心保育」「食育の推進」「地域との連携」などを重点に計画を策定している。 ・保育所保育指針に沿って、公立保育所保育研究会で検討された研究内容を基にPDCA サイクルを繰り返し、保育の質の向上を目指している。 ・予算に関しては子ども保育課で策定されているが、大規模施設改修などは協議しながら行い、小規模修繕は必要に応じ実施を依頼し、安心・安全な保育所となるように計画的に進めている。 		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・長期計画を踏まえて、単年度計画を策定し、年度初めに「全体的な計画」「本年度の方針」「行事予定」などを職員に配布し、周知している。各行事については、担当を決め、ねらいや内容を職員会議等で検討、確認を行い、共通理解のもと進めるようにしている。 ・保育の質の向上を目指した個々の研修計画を立て、実践し保育に生かしている。その他、岐阜市の取り組みとして、正規職員を対象に人事考課を行う過程の中で、一人一人が人事考課検討票を作成し、与えられた目標・業務、チャレンジ目標を掲げている。 		
改善できる点／改善方法：		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
⑥	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省を基にした計画を職員で話し合って策定している。 ・策定に関しては見落としがないよう保育安全計画を活用している。 ・計画は文書配布や回覧をするとともに職員会議、以上児・未満児会で周知し、会計年度職員に対しては個別に対応している。実施後は確認、見直しをして次年度につなげている。 		
改善できる点／改善方法：		
⑦	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度の初めには年間行事計画の配布やコドモン資料室での公開、毎月保育所だよりやクラスだよりを配信し、日報として毎日ドキュメンテーションを掲示して周知、理解を促している。 ・行事など子どもの様子は写真を使って情報公開し、よりわかりやすく伝えるように努力している。 ・防災計画については、災害発生時の対応など、玄関ホールでの掲示やコドモン資料室で公開し、いつでもどこでも再確認できるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
⑧	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画、月間計画、週案、日々のドキュメンテーションの作成を基に、PDCAのサイクルの継続や職員間の対話を通し、保育の振り返りを行い、自己評価、保育の質の向上につなげている。 ・年間の研修計画を作成し、保育研究会の園内・園外公開保育の実施や市保育課主催の学習会、市保育協会主催の研修、県保育研究協議会主催研修、関係機関主催の研修など、様々な研修を積極的に受講できるようにしている。受講後はレポートの提出を行い、回覧、職員会議での報告を通して他職員へ情報共有している。 ・第三者評価の定期受審を通して評価を行い、課題を明確にし、改善するようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	④・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価、第三者評価基準ガイドライン等について職員会議や自己評価研修で職員間の対話を重視しながら検討し、課題を明確にし、改善策を考え、適切に改善実施されるようにしている。 ・行事等の各種反省、課題について職員会や以上児・未満児会で共有し、討議することで改善につなげている。 		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	④・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所長の役割や責任を職務分担表において明文化している。また職員との面談や職員会議等にて方針や責任を明らかにしている。 ・有事に際しては、所長としての責任をマニュアルに記載し、職員にも周知している。また保育時間外や不在時においても役割等はマニュアルで明確化している。 ・所長は様々な研修において最新の情報を得て安全管理の知識を習得するようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	④・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場研修として公務員倫理、人権、接遇、個人情報、DX、ハラスメント、情報セキュリティ、コンプライアンス等の研修を正規職員はe-ランニングを活用し行い、会計年度職員に対しては、所長が講師となり、マンツーマンもしくは集会型で研修を実施することで理解を深め、周知徹底を行っている。 ・関連法令やマニュアルなどをファイリングして事務室に置き、いつでも閲覧できるようにしている。 ・所長は研修や講習等にも参加し、理解を深め、レポート回覧、職員会議での報告で周知している。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで2年間にわたり取り組んできた岐阜市公立保育所保育研究「遊び込み、遊びきる子どもをめざして」の取り組みを振り返り、今後更により良い保育実践となるよう日頃の保育の様子を見守り、副所長と連携を取りながら、課題、問題について、助言、指導を行っている。 ・職員同士が語り合い、アイディアを出し合える雰囲気作りを心がけ、会議が活発なものとなるように努め、保育の見直しや質の向上に努めている。 ・自己評価研修では、保育の基本について常に意識を持つ中で、ポイントを抑えて質の向上につながるようにしている。また、個々の研修計画を作成し、積極的に参加できるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織図や職務分担表を作成し、一人一人の職員が自分の役割を十分に理解し、意欲的に業務遂行できるようにしている。 ・人事考課票検討票にて、与えられた目標・業務について留意点や資質向上を目指し実施することを面談で把握し、その後も定期的に面談し進捗状況を把握している。その際、一人一人職員の意見を聞き、必要に応じて見直し、改善を行い、働きやすい環境づくりに努めている。 ・職員が意見を出しやすいような環境、雰囲気作りをし風通しの良い職場を目指している。 ・ICT「コドモン」アプリを活用して、出席把握やお便りの配信、写真販売など業務の効率化の実施、清掃業務の委託、用務員の派遣依頼を行い保育業務へ力を注げる体制をつくっている。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事については、市の人事規定に基づいて定められているが、採用募集の際には、職員を巻き込みながら、資格保有者に対して呼びかけを実施している。 ・岐阜市の管理のもと、各年齢別児童数、障がい児加配、標準時間保育児童数の状況に応じて適切な職員配置をしている。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・地元の中学生を対象とした職業紹介や職業体験の機会を設けている。 ・実習生の受け入れは、可能な限り受け入れをし人材育成に努めている。 		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の服務規定により、期待する職員像は明確化されており、クレドノートは常に携帯し、必要に応じ確認、研修等で活用している。 ・人事考課マニュアルに基づき、人事考課を実施している。業務の目標、チャレンジ目標などを設定し、一年を通して達成できるようにしている。 ・年3回の所長との面談を行い、進捗状況の把握、相談や今後の取り組みなどについて話し合い、助言や指導を実施している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務状況、年休取得、超過勤務をPCで一括管理している。 ・職員の出退勤管理は出退勤表によって把握している。 ・積極的な年休取得の為、サポート体制を整えている。また、休みやすい環境づくりに努めている。 ・メンタルヘルス研修、ハラスメントの研修などを実施し、職員の心身の健康が保たれるように配慮している。また、職員厚生課等で悩み相談や健康相談室があることも職員に周知したり、いつでも相談等に応じる姿勢を伝えている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㊦・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・正規職員は、人事考課マニュアルに沿った目標管理、人事考課を実施している。 ・1年の目標設定をし、中間面談を含む年3回の面談を所長と行いながら、進捗状況の把握、相談、助言、激励等を実施し、目標達成、達成確認を実施している。 ・職員が記入する「自己行動記録書」を活用し、職員自身も業務内容をアピールできる機会を作り、意欲が高まるようにしている。 ・会計年度職員には必要時、もしくは本人の希望時には面談を実施し、働きがいや意欲が持てるような話をしている。 		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、	㊦・b・c

	教育・研修が実施されている。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の「基本方針」の運営管理の中で職員の資質向上、職員研修の基本姿勢を明示している。 ・子ども保育課の学習会、市保育協会の研修、岐阜県の各分野ごとの研修、キャリアアップ研修など様々な研修に積極的に参加できるように計画を作成している。 ・保育研究会の公開保育を通して保育の課題を見つめる機会を設けたり、研修の報告、レポート回覧によって職員の資質向上につながるよう努めている。 ・職場内研修も実施し、職員の資質の向上を目指し、保育所全体の保育の質の向上につなげている。 		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職位、経験年数、担当年齢などを考慮して全職員の個別の研修計画を作成し、積極的に研修に参加できるようにしている。 ・新人職員採用時には、一人一人の階層別研修、職種別研修、テーマ別研修の機会を確保している。 <p>また、先輩保育士を任命して、親しみやすい関係性の中、新人教育につなげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して、外部の研修の情報を積極的に発信し、情報共有している。 ・研修参加後はレポートの提出、回覧をし、情報の共有をしている。また、必要に応じ、職員会議等で報告する機会を設けて、保育実践に生かせるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生受け入れマニュアルを基に、養成校、子ども保育課と連携を取り、受け入れをしている。 ・看護実習生、保育実習生とも積極的に受け入れを行っており、事前オリエンテーションを実施し、明確な目標を持ってもらい、保育所の特性を理解したうえで実習に臨んでもらうようにしている。 ・実習生の受け入れを掲示や保育所だよりでお知らせし、スムーズな受け入れにつなげている。 ・実習中は養成校の担当教諭の訪問時に話し合いを行い、実習内容について連携している。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われてい
	㊦・b・c

	る。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市のホームページや「入所案内」で保育所の概要や保育方針などの情報を公開している。 ・玄関に苦情解決制度の案内、体制についてわかりやすく掲示している。 ・第三者評価の受審証を玄関扉に掲示し、地域、保護者へ発信している。 ・散歩時に保育所案内を携帯し、地域の乳幼児の家庭へ配布している。 		
改善できる点／改善方法：		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所における経営・運営等は毎年岐阜市の指導監査課と子ども保育課により指導監査を受審している。指摘事項はない。 ・所長、副所長、保育士で事務分担しており、職務分掌と権限、責任を職員等に周知し、毎年各項目について所長、副所長を中心に確認している。 ・所長、副所長、保育士は現金取扱員として登録し、現金は出納簿で管理している。また、その都度子ども保育課の係員に確認を受けている。現金の取り扱いに関しても透明性は高い。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の中で地域との連携について明文化している。 ・JA ぎふ三輪支店や農業ボランティア（民生児童委員等）の協力を得て、さつまいもの栽培、収穫を通して地域の方々との交流を図っている。 ・小学校の運動会見学や交流を行い、保育所や子どもへの理解につながるようにしている。 ・地域の中学生を対象とした保育所や子どもへの理解につながるようにしている。 ・地域の関係機関やエール岐阜などの社会資源の配布物を玄関に置き、情報提供している。 		
改善できる点／改善方法：		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㊦・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等受け入れのマニュアルは明文化されている。 ・守秘義務など、保育所で知り得た情報は外部へは漏らさないことや心構えを事前に説明している。 ・受け入れ計画を職員間で共有し、受け入れ側の注意事項等、周知している。 ・職場体験の希望がある際には、協力し受け入れを実施する。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種関係機関（子ども保育課、子ども・若者総合支援センター、子ども相談センター、小学校、地域、幼児支援教室、療育施設、嘱託医等）と必要に応じて情報交換を行い、連携を取っている。 ・要保護児童在籍時には、毎月の報告を実施し、児童虐待について迅速な対応ができるように体制を取っている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元気子育てサロン事業」による園庭開放、絵本貸し出し、子育て相談、サポート一時預かり、親子体験保育を実施している。 ・地元の中学校へ職業紹介に保育士が出向き、交流を図り、保育所への興味を持ってもらい、人材育成へつながるようにしている。 ・定期的に学校運営協議会に出席し、学校関係者や自治会、民生児童委員など様々な地域に関係する方と交流を図り、情報交換をしている。 ・「地域子育て相談機関」の看板をかかげて問い合わせ、相談に応じている。 		
改善できる点／改善方法：		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気子育てサロン事業を実施する中で、利用した保護者から地域のニーズの把握や施設見学時にも保護者のニーズを把握している。 ・学校運営協議会への出席の機会を活用し、民生児童委員等様々な方との交流を通し保育ニーズの把握に努め、事業や活動に生かしている。 		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの人権」「保育士倫理要綱」は事務室、各保育室に掲示し、保育士が常に目にすることで子どもの主体性や人権を尊重している。 ・子どもの人権、虐待防止や不適切保育について研修を行い、全職員が共通理解のもと子ども一人一人を大切に保育できるようにしている。 ・子どもの人権4つの柱を玄関や保育室に掲示するとともに、子どもの権利条約や人権、性差、虐待防止についての研修を行い、全職員が共通理解のもと子ども一人一人を大切に保育している。 <p>改善できる点／改善方法：</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育提供が行われている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者のプライバシー保護についてのマニュアルを整備し、研修を実施して全職員が把握し周知徹底している。 ・写真などの個人情報について入所時に「個人情報同意書」を提出してもらい、保護者の意向に沿った対応を行い、全職員に周知している。 ・トイレ、着替え、プール遊びの時は衝立やカーテン、目隠しネットを使用したり、プライベートゾーンについて「元気会」で子どもたちにも話をしたりして、プライバシー保護に努めている。 <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の情報は、市のホームページや親と子のハンドブック「ぶりあ」にサービス内容など掲載している。 ・地域の未就園児に保育所を知ってもらうために、散歩時などに案内を携帯し、必要に応じ配付し 		

<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所見学は随時受け付けており、施設見学や質疑応答を実施している。また見学者にも保育所の理念、目標等保育所の内容、情報がわかりやすいよう掲示している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
31	<p>Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所見学、入所希望者には入所案内や保育所案内を渡し、丁寧に説明している。 ・ 入所受付、新入所児健診、入所式、各行事等の機会にも説明を行い、理解を得られるようにしている。 ・ 保育の利用時間や就労状況等変更がある場合は適切な説明を行い、スムーズに変更ができるようにしている。 ・ 進級時には保育内容や保育料、持ち物などの変更について前年度のうちに丁寧な説明を実施している。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の保育所（保育園）に転所の際は児童票、個別記録表、健康管理簿等を送付し、サービスの継続に努めている。 ・ 就学児については市統一の「保育所児童保育要録」を小学校に送付し、子どもの育ちが引き継がれるように配慮している。 ・ 卒園後も相談窓口としていつでも活用してもらうよう呼びかけ、サービスの継続に努めている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。</p>	<p>㊦・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケートを年3回(保育参観、オータムフェスティバル、生活発表会)実施し、保護者意向を知り、職員会等で検討し、反映できることは取り入れたり、改善している。 ・ アンケートの意見や回答などをまとめコドモンで配信している。 ・ 送迎時の声掛け、連絡帳、クラス懇談会や個別懇談等の機会を活用し、保護者の意向把握に努め、改善すべきところは職員で話し合って改善に努めている。 		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決制度の案内や意見箱は、目につきやすい玄関に掲示、設置している。 ・保護者からの意見を受け付けた場合は、保護者対応マニュアルに沿って適切な対応を行い、解決に向け職員全員で話し合いを行い、再発防止に努めている。 		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決制度の案内や意見箱を玄関に掲示、設置している。 ・保護者の送迎時には積極的に声をかけ、担任をはじめとして所長、副所長にも相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。 ・相談時には落ち着いてゆっくと話すことができる場所を作り安心してできるようにしている。 		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見に対しては、マニュアルに沿って、所長、副所長が対応するもの等を判断して、迅速に対応している。 ・意見の内容については記録をし、職員間で対応や改善点を共有し、再発防止につなげている。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月施設、遊具の安全点検を実施し、見直し、改善を行っている。 ・「安全管理マニュアル」「災害時対応マニュアル」を整備して、手順を明確にし、職員の役割分担についても把握できるようにしている。 ・避難訓練や不審者対応訓練、救命講習や緊急時対応について研修を行っている。 ・ヒヤリハット事例を毎月提出し、職員会議で検証し、職員全員が危険箇所の把握、見直し、改善を実施している。 		

改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全管理マニュアル」「感染症ガイドライン」などを参考に健康管理マニュアルを作成し、感染症にも対応している。 ・研修参加者が常に新しい知識を広め、職員に情報共有をしている。 ・保護者への情報提供はプライバシーに配慮してその日のうちに担当者がクラスや玄関に貼り出しを行っている。 ・「学校等欠席者・感染症情報システム」に登録、周辺地域の感染症の状況把握をし早期発見や予防に活用している。 		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災マニュアル」「災害対応時対応ガイドライン」に基づき、職員体制を組んでいる。 ・保護者へはコドモンによる一斉配信や職員の緊急時の連絡体制を整備している。 ・安否確認には、保護者はコドモン一斉配信の活用、職員は職員参集システムを活用する。 ・緊急時引き渡しカードを作成し、緊急時に備えている。 ・災害時に備え、保育所内に子どもと職員の水、ビスケット、アルファ米の備蓄（3食×3日分）をしており、市防災課の職員が定期的に点検管理を行っている。 ・消防署と連携した通報避難訓練を行っている。 		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育所保育指針」を基に、「全体的な計画」を作成し、それらを基盤に年齢別の年間、月間計画、週案、個別指導計画などの指導計画を策定している。 ・公立保育所保育研究会で作成した「アプローチカリキュラム」、「発達に沿った教材及び援助のポイント」年齢別の「業務マニュアル」「手引書」を参照、活用し質の高い保育を目指し、常に標準的な保育等が実施できるよう職員に周知している。 		

<p>・保育内容に関しては職員会議等で常に検討され、子どもの状況に合わせた保育が実践されるようにしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全体的な計画」は毎年職員会議で評価、見直しを実施している。 ・年間計画は年4回、月案は月1回、週案、個別指導計画は随時評価見直しを行っている。実施方法については職員会議、以上児会・未満児会で話し合い職員の意見交換、保護者アンケートの実施から、保護者の意見の反映などができるようにしている。 ・各種マニュアルについても保育安全計画を基に、見直しを行い、検討している。 ・検討した意見を所長会議などでさらに話し合い、公立保育所で共有している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所時の家庭調査票などにより家庭状況、発育状況、既往歴、予防接種の状況などを把握して「児童票Ⅰ」を作成している。状況に応じて、追記、変更している。 ・「全体的な計画」に基づいた年間、月間、週案などの計画が作成されている。また、子ども一人一人の個別指導計画を作成し、個別懇談、送迎時の会話などで保護者の意見を聞き取り、計画に反映させるようにしている。 ・障がい認定児童の個別指導計画は保護者の意向を踏まえ計画を作成している。 		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画は、担任、副所長と共に定期的に評価、反省を行っている。また、日々のドキュメンテーションを通し、保護者との対話を深め、保護者のニーズや子どもの育ちの姿を共有している。 ・見直した事項はその都度計画に記載している。また、月に一度、所長、副所長が確認し、必要に応じて助言指導を行い、次の保育に活かせるようにしている。 ・基本となる各種計画は所長会、公立保育所保育研究会で見直し、改訂している。「全体的な計画」「食育年間計画」「保健安全計画」は年度末に見直しを行い、翌年度の計画に反映している。 ・障がい認定児童については、個別指導計画作成時、見直し時には保護者面談を実施している。 		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未満児の個別指導計画はクラス担任で共通認識のもと計画し具体的に記録している。 ・以上児は児童票Ⅱに子どもの状況を記録し、所長、副所長が点検し、共通理解ができるようにしている。 ・個別の配慮事項についてはケース会議等で情報共有や対応の検討、現状把握をし、共通理解のもと保育実践している。 <p>次年度への引継ぎは園独自の様式で個別に記載し、申し送りができるようになっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市情報セキュリティハンドブック等に基づき、個人情報を適切に管理している。 ・紙ベースの個人情報の掲載された資料は鍵のある事務室内の棚で保管している。また、持ち出しは保育室内までとし、当日中に事務室へ返却することを徹底している。 ・パソコンはパスワード設定や、鍵のかかる場所で保管し、取り扱いには十分気をつけている。 ・写真用のSDカードは園内であっても持ち出し時、返却時には記録をし、取り扱いには十分気をつけている。 ・個人情報、情報セキュリティの研修を実施し、個人情報保護や守秘義務について、全職員の理解を深めている。 		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容
Ⅳ－１ 保育課程の編成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岐阜市立保育所全体的な計画」に基づき、子どもの発達過程や家庭の状況、保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。 ・保育の方針や目標を基に、年案・月案・週案を作成し、評価・反省を行い、課題を見直し、次に繋げている。 ・保育の理念や目標は玄関や各部屋の見やすい所に掲示し、意識して保育にあたるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検（遊具、保育室等）や一日３回の室温・湿度の測定を実施するなど、安心安全で快適な環境を整えている。 ・薬剤師による環境衛生検査を実施し、適切な環境が保たれている。 ・砂場は、定期的に掘り起こして日光消毒を行い清潔を保つようにしている。夜間はシートをかけ、猫等の進入防止対策をしている。 ・４月下旬から１０月末にかけて、テントや遮光ネットを使用し日陰をつくり、熱中症対策を行い、快適に遊んだり過ごしたりできるようにしている。 ・子どもの発達や興味・関心に合わせた玩具や遊びの環境を子どもと一緒につくり、心地よく過ごせるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の家庭環境や発達、生活リズムを把握し、子どもの状態に合わせた保育を行っている。 ・職員会（ケース会議）や以上児・未満児会の中で、子どもの様子や配慮すべき点を話し合い、職員間で共通理解をして、一人一人に合わせた援助や対応ができるようにしている。 ・子どもたちが自分の思いを言葉で表現するのが難しい場合は、思いを汲み取ったり代弁したりしながら、話しやすい雰囲気をつくり、思いを伝えられるように関わっている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㊦・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月「元氣会」を実施し、安全で健康に過ごすための約束や病気の予防、基本的生活習慣について子どもたちにわかりやすく伝え、見直しができるようにしている。 ・基本的生活習慣の習得にあたっては、一人一人の発達や家庭環境を考慮して援助し、子ども自ら行ったり、「できた」という喜びや達成感を味わえるようにしている。 ・一人一人の家庭状況や発達を踏まえ、基本的生活習慣が身につくように、家庭との連携を図っている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（４） 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や興味・関心に合わせた遊びの環境を子どもと一緒に作り、子どもが主体的に遊びこめるようにしている。 ・友達や異年齢児との関わりの中で、ルールを守って遊ぶことや協同する気持ちが育まれるようにしている。 ・JAや地域の方とサツマイモの苗植えや収穫をしたり、勤労感謝の日にはJAや警察署など感謝をする機会をもち、地域の人との交流を大切にしている。 ・園外散歩や園庭の畑にて、身近な自然に触れる機会をつくり、四季の変化が感じられるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（５） 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p style="text-align: center;">非該当</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（６） ３歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「自分で」という思いを大切にしながら職員間で連携をとり、基本的生活習慣が身につくように援助している。 ・発達や興味に合わせた玩具を用意し、自由に取り出して遊べるように配置するとともに、探索活動が十分にできるよう安全で広いスペースをつくっている。 ・保育士が仲立ちとなり、友達や身の回りの人との関わりがもてるようにしている。 ・生活や遊びの様子（子どもの育ち、10の姿を通して）をドキュメンテーションや連絡帳を利用して保護者に伝えている。 ・連絡帳や送迎時の会話を通して子どもの様子を伝え合い、子育ての喜びを共有できるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（７） ３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢ごとに子どもの発達や個性等に考慮した保育の計画を作成し、保育を実践している。日々の保育の評価反省を基に保育を見直し、その後の保育につなげている。 ・子どもの発達や興味・関心に合わせた遊びの環境を子どもたちと一緒に作り、一人一人が主体的に遊ぶことができるようにしている。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、異年齢児と交流する場があり、小さい子や友達への思いやりや信頼感がもてるようにし、社会性を育てている。 ・送迎時の対話や毎日のドキュメンテーションを通して、生活や遊び・成長（子どもの育ち、10の姿を通して）が保護者に伝わるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（８） 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エールぎふ、幼児支援教室、医療機関等の専門機関と連携を取り助言を受け保育にあたっている。 ・障がい担当保育士は、研修や保育相談員の巡回指導、恵光学園での実習等に参加し知識を得ている。 ・保護者と送迎時や連絡帳を通して様子を伝え合ったり、年3回の面談を行っている。関係機関からの情報や保護者の意向を取り入れ、障がい児個別指導計画を作成し、一人一人の発達状況や特性に合わせた援助が行えるようにしている。 ・ケース会議にて全職員が情報を共有し、統一した対応・援助が行えるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（９） 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的でゆったりとした雰囲気の中で、一人一人が安心して心地よく過ごせるような環境づくりをしている。 ・子どもの発達、生活リズムや心身の状態に配慮し、スキンシップを図ったり温かい関わりの中で穏やかに過ごせるようにしている。 ・コーナー遊びの工夫や玩具の充実など、定期的に見直ししながら、好きな遊びが楽しめるようにしている。 ・送迎時児童チェック表を活用して連絡事項や子どもの様子について引継ぎをし、保護者への伝達が確実にできるようにしている。 ・それぞれの登降所時間に配慮して、水分補給ができるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（１０） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプローチカリキュラムに基づいた保育を実施している。 ・小学校との交流を行い、小学校生活への見通しや期待がもてるようにしている。 ・個別懇談や送迎時に子どもの様子を伝え合い、保護者が小学校以降の子どもたちの生活に見通しをもち安心して就学を迎えられるようにしている。 ・幼保小合同研修会や幼少連携推進事業の授業公開に参加したり、小学校との連携を図っている。 ・保育所児童保育要録を作成し、卒園後も連続した援助が行えるよう小学校との連携をとっている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－３ 健康管理

	第三者評価結果
Ⅳ－３－（１） 子どもの健康管理を適切に行っている。	㊤・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健安全計画」を作成し、実践し、年度末に見直しをしている。 ・「保健安全計画」に基づき、毎月「元気会」を行い、健康安全に関する約束を子どもたちと一緒に考える機会をもっている。また、その様子を掲示し、保護者に情報提供している。 ・毎朝、受け入れ時に子どもの健康状態を把握し、異常のある時には保護者と連携をとって適切に対応している。 ・入所時に既往歴や予防接種の状況等を記入してもらい、随時追記している。必要に応じて（アレルギー・痙攣・脱臼）、全職員に周知している。 ・SIDSに関する啓発をするとともに、午睡時健康観察記録表（3歳未満児）を活用して、事故を未然に防ぐようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV－3－（２） 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断（内科・歯科…年2回、耳鼻科・眼科…年1回）、児童検尿を実施し、結果を児童票に記入し必要に応じて職員間で周知している。また、保護者に結果を個別に伝え、治療が必要な場合は受診を促し、受診結果をもらうようにしている。 ・歯科健診後、歯の大切さや歯磨きの仕方、食生活について、子どもたちにわかりやすく知らせている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV－3－（３） アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所食物アレルギー児の給食対応マニュアル」に基づき、医師による「保育所におけるアレルギー性疾患生活管理指導表」の指示に従い対応している。 ・毎月、保護者、調理員、担任保育士、副所長（または所長）と献立成分表を用いてアレルギー面談を行い、対応の確認をしている。 ・アレルギー児の食事は専用のトレー・食器を使用し、給食室、事務室、クラスにおいて指差し確認を行い、誤食がないようにしている。食事中は専用の机を使用し、保育士がそばで見守っている。毎日、食物アレルギー児記録表に食事の提供状況や様子等を記録している。 ・アレルギー疾患や熱性痙攣等の慢性疾患の既往歴のある子に対しては、発症時の状況や対応について保護者と確認し、緊急時に備え「緊急個別対応票」を作成している。 ・アレルギー対応や緊急時対応について研修を行い、必要な知識や情報を得ている。 	
改善できる点／改善方法：	

IV－4 食事

	第三者評価結果
IV－4－（１） 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食育計画」を作成し、栽培物の世話や収穫、クッキング（調理員による食材の話）などを行い、食への興味・関心をもてるようにしている。 ・園庭の畑で収穫した野菜（玉ねぎ・夏野菜等）を家庭に持ち帰り、調理のお手伝い、食事の共有など会話が盛り上がるようにしている。また、家庭に食育アンケートを実施し、集計後、レシピを掲示している。 ・毎週火、金曜日には給食やおやつを展示したり、食材の産地情報の掲示や給食献立・レシピをコード 	

<p>モンで配信するなど、保護者に情報提供をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのお皿の食育ボードを使い、食に関する興味・関心につなげている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV－4－（２）子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調や食べられる量、苦手な食材などを把握し、一人一人に合わせて量を加減したり、食材の大きさに配慮して、「たべれた」という実感を得られるようにしている。 ・季節に応じた食材や行事食を提供したり、行事の際にはランチョンマットを使用したりして楽しく食事ができるようにしている。また、その様子を情報公開して保護者にも知らせている。 ・給食献立検討委員会で献立は検討され、旬の食材や地域の産物を活かした料理が味わえるようにしている。 ・調理員の協力を得てクッキングを実施し、食材の話を聞いている。和食の日にちなみ、年長児を対象に栄養士による「だしの話」を聞いたり、だしを味わう機会をもっている。 ・給食衛生管理マニュアルに基づいて、給食物資の保管管理を行い、調理作業時には、中心温度測定などで温度管理等、適切に行っている。 	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅴ 子育て支援

V－1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V－1－（１）子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の会話やドキュメンテーション、連絡帳を通して、日々の子どもの様子を伝え合いながらコミュニケーションを図り、信頼関係がとれるようにしている。 ・保育参観、個別懇談会（年長児以外は希望者…年1回）やクラス懇談会（年1回）を行い、子どもの成長や子育ての悩み等を共有したり、保護者の意向を把握し、保育の方針について理解が得られるようにしている。 ・毎月、保育所だより・クラスだよりをコドモンにて配信し、月のねらいや行事の予定を知らせている。また、週の予定やねらいを掲示したり、生活や遊び、行事の様子を配信・掲示して情報提供を行っている。 ・日々の日報はドキュメンテーションを作成して掲示し、10の姿の育ちを基に保護者と子どもの育ちを共有している。 	
改善できる点／改善方法：	

V－2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V－2－（１）保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に日々の保育所での子どもの様子を伝え合いながらコミュニケーションを図り、信頼関係が築けるようにしている。 ・保護者からの相談は随時受け付け、必要に応じて懇談を行っている。相談内容は子育て相談記録表に記録し、必要な場合は専門機関と連携を図ったり、職員間で周知して適切な対応ができるようにしている。 	

改善できる点／改善方法：	
V－2－（２） 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・「児童虐待対応マニュアル」に基づいて、日頃から子どもの心身の状態や話、送迎時の様子を観察し、早期発見に努めている。虐待が疑われる場合は、速やかに所長に報告し、職員間で情報を共有して観察・記録を取る等の対応ができるようにしている。また連絡のない欠席の場合は家庭に連絡を入れ様子を伺うようにしている。 ・子ども保育課、エールぎふ、岐阜県中央子ども相談センターなどの関係機関と連携して対応できる体制が整っている。 	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅵ 保育の質の向上

Ⅵ－１ 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
Ⅵ－１－（１） 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを活用し、定期的に自分の保育を振り返り、研修にて職員同士で話し合うことで、意識を高め合い共通理解のもと、保育を行えるようにしている。 ・園内公開保育を実施し、内容について意見交流することで自身の保育を見直し、保育の改善や専門性の向上につなげている。 ・指導計画に基づいた評価・反省をし、日々の保育の振り返り（ドキュメンテーション）や改善を行い、その後の保育につなげられるよう保育日誌に記録している。 	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ－１ 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ－１－（１） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応訓練の年間計画を作成し、月1回様々な想定で訓練を実施し職員の連携等確認をしている。 ・年1回県警たんぽぽ班による連れ去り防止教室に参加し、子どもたち自身の防犯意識が高まるようにしている。 ・園内4か所に防犯カメラを設置し、24時間体制で防犯対策をしている。さすまた、催涙スプレーを常備し緊急時に対応できるようにしている。 ・玄関や西門は10時から15時まで施錠している。また、玄関ドアには鈴の設置や防犯カメラにて、来所者をすぐに確認できるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶー２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶー２ー（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに年間行事予定表を配布、またコドモンにていつでも閲覧できるようにし、保護者が前もって予定を立て、保育参加しやすいようにしている。 ・毎月の保育所だよりで行事の詳細を知らせると共に、保護者の参加が必要な行事については別途、詳細な案内を配信（配布）して周知している。 ・保育参観やクラス懇談会の資料を作成し、参加できなかった保護者にも配布するなどの配慮をしている。 ・保育参観やオータムフェスティバル、生活発表会などの行事の際はアンケートを実施して保護者の意見を汲み取り、保育に活かしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶー２ー（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会と連携を取り合い、活動時には場を提供したり、その間役員の子どもの保育を行っている。 ・保護者会からの相談にはその都度応じ、保護者の意向を踏まえ一緒に考えたり、提案したりして連携を取り、共通理解のもとで協力して進められるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶー３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶー３ー（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けて保育所児童保育要録を作成し、継続した支援が行われるよう各小学校へ送付している。 ・年長児の保護者に就学前健診の日程を知らせ、全員が受診できるようにしている。 ・地域の小学校の学校運営会議や授業参観に参加したり、卒園式等互いの行事に招待、出席し連携を深めている。また、就学前には各小学校と懇談を行うなど連携し、スムーズに就学できるように努めている。 ・年長児は小学校を訪問し、交流して、連携をとっている。 	
改善できる点／改善方法：	